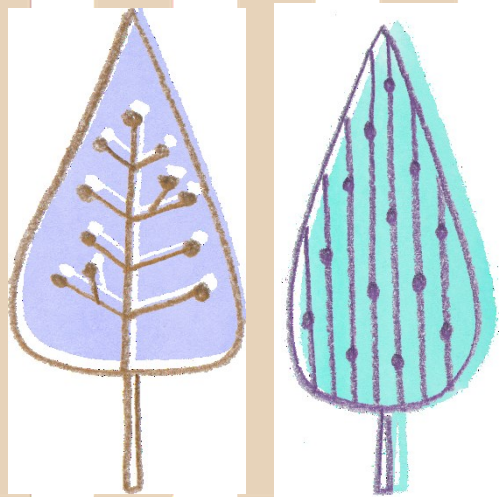


様式3

令和4年度主任介護支援専門員研修

対人援助者監督指導Ⅲ

～スーパービジョン演習～



医療法人財団明理会 地域包括支援センター埼玉セントラル
所長 出張 由起

医療法人真正会 居宅介護支援事業所しんしあ
管理者 保坂 麻里

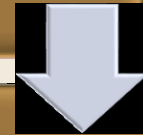
第Ⅰ部

グループ・スーパービジョンの手法

～事例検討会の展開を学ぶ～

グループ・スーパービジョン演習のプロセス

事例説明



一問一答(見立て)



検討課題の整理



支援計画(手立て)



気づきの発表

グループスーパービジョンのプロセス

事例説明(事例提供者)		「事例の提出理由」 (分)「検討してほしいポイント」を 中心に
一問一答	付箋記入 (提供者以外)	1つの質問につき1枚 「気づき」を念頭に
	質問(全員) 記録は青色ペン	質問は質問シートに貼る 関連ある質問は深めていく
課題の整理	付箋記入(提供者以外)	事例ではなく、ケアマネの持つ検討 課題を考える
	まとめ(司会者)	発表のあと、司会者は課題の整理を して確認する
支援計画	付箋記入(全員)	付箋1枚に1つの提案 ケアプランにならないように
	ディスカッション	ここでは質問はしないし答えない 提案者は提供者に同意を求めない
	まとめ(司会)	司会者が支援計画の整理 それを全体で共有
気づきの発表	(提供者) 記録は赤色ペン	スーパービジョンを通して 気づきや意見

スーパーバイザーの視点

事例説明

事例提供者の「事例の提出理由」「検討してほしいポイント」が明確になっているか



一問一答（見立て）

質問は「どうしたら気づきがあるか」を念頭に、根拠を持った質問をしていく



課題の整理

ケアマネジメント上の検討課題を明らかにして、参加者全体で共有する



支援計画（手だて）

利用者支援計画(ケアプラン)ではなく、ケアマネ自身の行動計画の提案



気づきの発表

ケアマネ自身の気づきをしっかりと確認をする。言語化することで決意表明にもなる

第2部

グループスーパービジョン
～事例検討会の展開を体験する～

模擬グループスーパービジョン『事例説明』

プロセス	
事例説明 8 (分)	
一問一答 (見立て)	付箋記入 3
	質問 12
課題の整理	付箋記入 3
	まとめ 3
支援計画	付箋記入 3
	ディスカッション
	まとめ (司会) 2
気づきの発表 2	

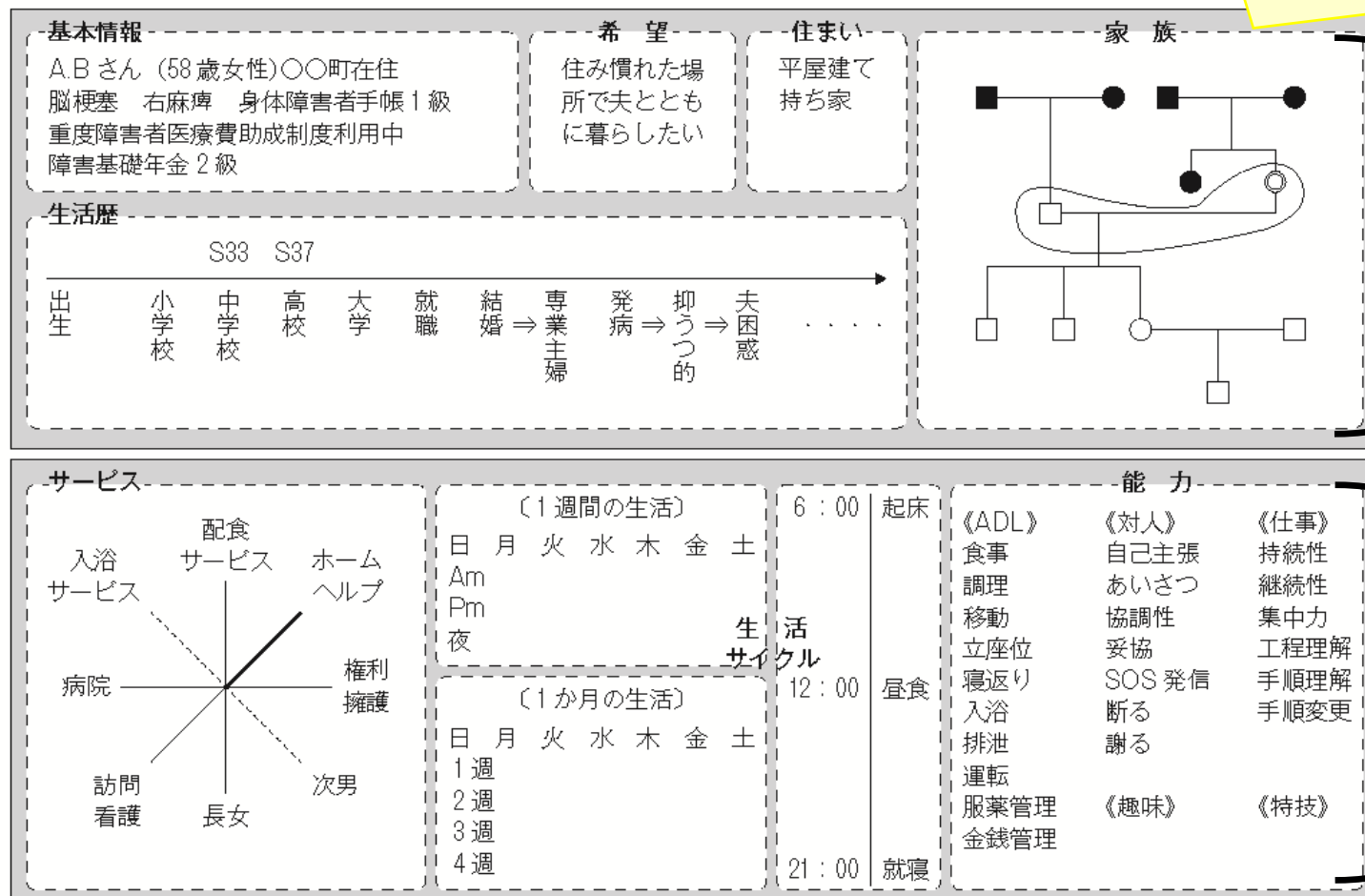
これから、事例提供者が事例の概要を説明していきます。

- 記録の担当者は、事例提供者が話したことをホワイトボードやシートに記載して、可視化していきます。
- 模擬では、事例提供者と記録の役割を見てみましょう。

記録方法（情報の整理）

事例の可視化

図 7-2 ホワイトボードの活用例



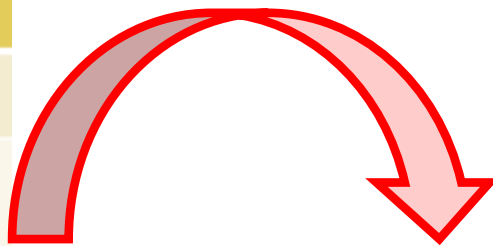
事実

アセスメント
内容

出典 野中猛『多職種連携の技術——地域生活支援のための理論と実践』中央法規出版、96 頁、
2014 年

模擬グループスーパービジョン 『一問一答』

プロセス	
事例説明 8 (分)	
一問一答 (見立て)	付箋記入 3
	質問 12
課題の整理	付箋記入 3
	まとめ 3
支援計画	付箋記入 3
	ディスカッション
	まとめ (司会) 2
気づきの発表 2	



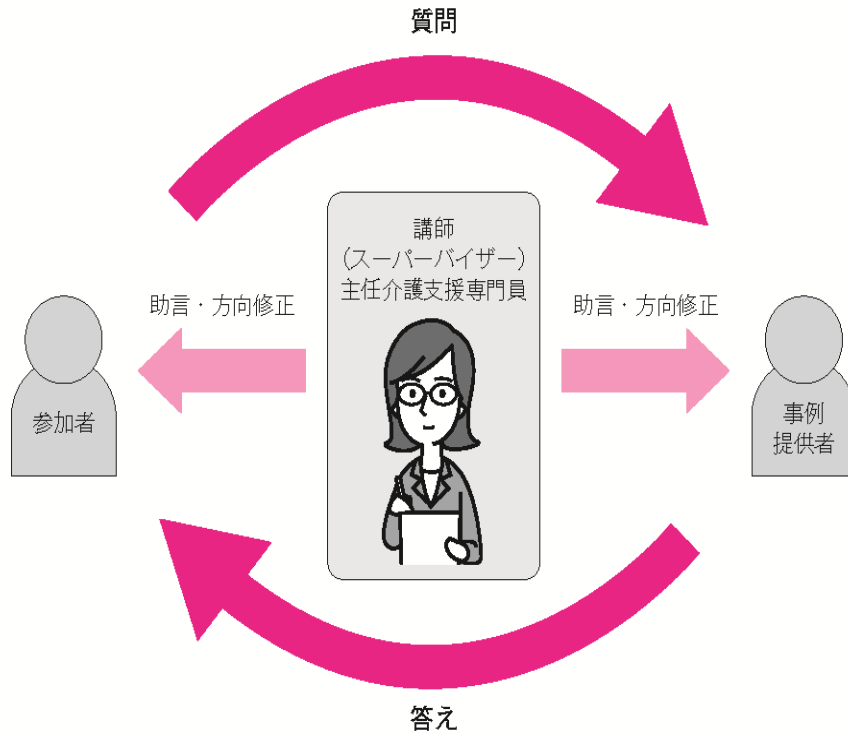
「可視化された情報」を見ながら、
参加者が質問を付箋に記入します。
1問に1枚の記入がルールです。
「何故、その質問をするのか」
「その質問で何を明らかにしたいか」
など、根拠を持って質問を考えてみましょう。
👉 3分



何故、一問一答なのか

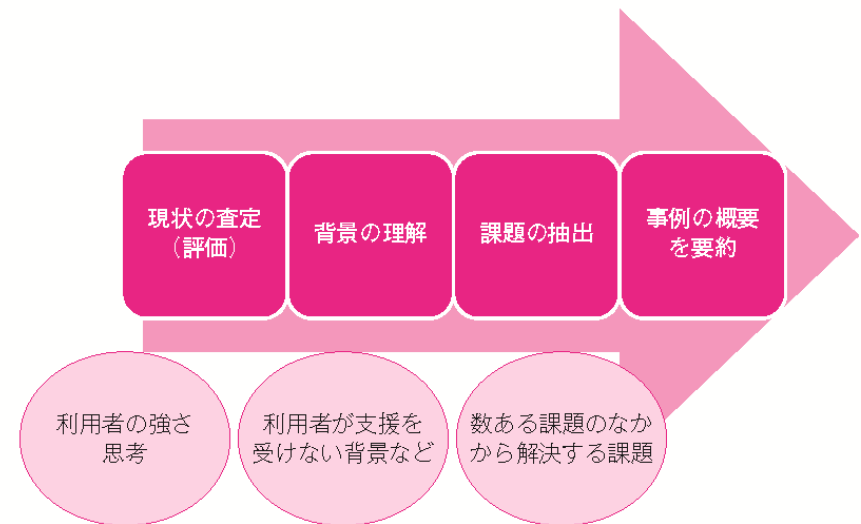
テキスト P393-395

図 9-4 一問一答による「質問」と「答え」の循環



具体的な情報の再編成
☞ 事例の個性や特性を明確化していく


図 9-5 見立てる力のプロセス



事例を再統合するために必要な情報を
「質問」によって集めていく
☞ 事例を「見立てる」ことが可能

模擬グループスーパービジョン『課題の整理』

プロセス	
事例説明 8 (分)	
一問一答 (見立て)	付箋記入 3
	質問 12
課題の整理	付箋記入 3
	まとめ 3
支援計画	付箋記入 3
	ディスカッション
	まとめ (司会) 2
気づきの発表 2	

- 
- ここまでの段階で、「ケアマネの検討課題」を明らかにします。
 - 事例そのものではなく、ケアマネが持つケアマネジメント上の検討課題として、考えましょう。
 - 『まとめ』では、司会が「ケアマネの検討課題」をまとめて、全体で共有できるように話します。

模擬グループスーパービジョン『支援計画』

プロセス	
事例説明 8 (分)	
一問一答 (見立て)	付箋記入 3
	質問 12
課題の整理	付箋記入 3
	まとめ 3
支援計画	付箋記入 3
	ディスカッション
	まとめ (司会) 2
気づきの発表 2	

手立ての立案。

ケアプランにならないように、ケアマネが行う「実行プラン」を考えましょう。

☞ 3分

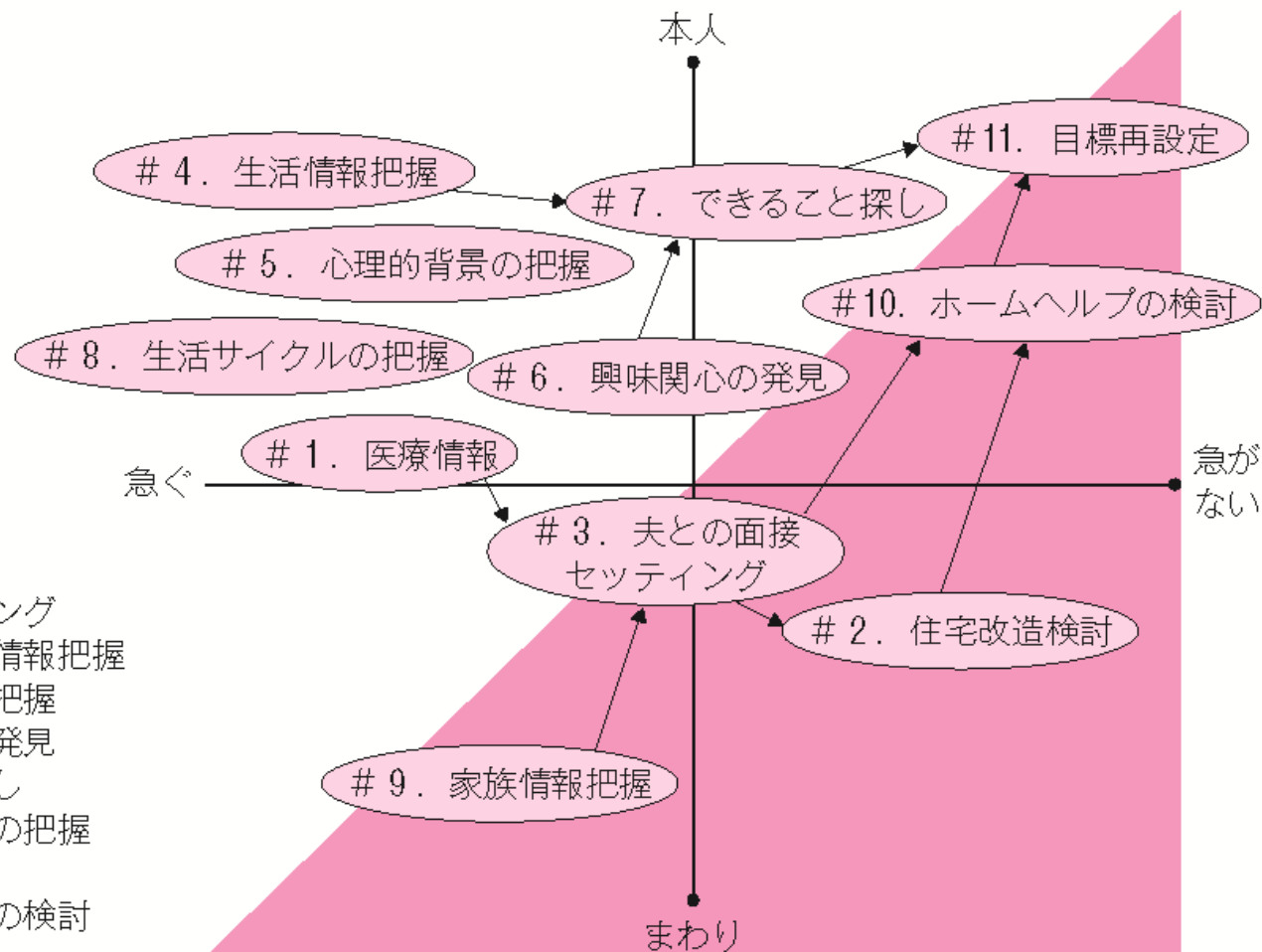
ディスカッションは、今回は省略。

『まとめ』では、「実行プラン」を全体共有できるように、話してみましょう。

☞ 2分

图 7-3 十文字表

通称「十文字表」
横軸は時間軸、縦軸
は空間軸
提案された支援内容
の断片を整理してい
くツール



【支援内容】の例示

- # 1. 医療情報確認
- # 2. 住宅改造検討
- # 3. 面接セッティング
- # 4. 健康時の生活情報把握
- # 5. 心理的背景の把握
- # 6. 興味・関心の発見
- # 7. できること探し
- # 8. 生活サイクルの把握
- # 9. 家族情報把握
- # 10. ホームヘルプの検討
- # 11. 目標再設定

出典 野中猛『多職種連携の^{アート}技術——地域生活支援のための理論と実践』中央法規出版、97頁、2014年

模擬グループスーパービジョン『気づきの発表』

プロセス	
事例説明 8 (分)	
一問一答 (見立て)	付箋記入 3
	質問 12
課題の整理	付箋記入 3
	まとめ 3
支援計画	付箋記入 3
	ディスカッション
まとめ (司会) 2	
気づきの発表 2	

事例提供者の気づきを、発表。

事例提供者は言語化することで、実践のイメージをもってもらいます。

記録者は、提供者が持ち帰りが出来るように、十文字表の空欄部分に赤字で意見を記入します。

👉 2分

「気づき」を得る意味

テキストP356

事例検討の結果の共有として、バイザー自身の考察や「気づき」を言語化

効果

1. これまでに無かった新たな視点を得ることでの成長
例えば・・・利用者や状況の捉え方や理由の客観視、
業務の癖やパターンの自覚の促進、
他のメンバーとの発想の違い(比較)など
2. 不安解消と自信に繋がる



お疲れ様でした！



出典/参考文献

テキスト：介護支援専門員現任研修テキスト 第2版 第3巻「主任介護支援専門員研修」，中央法規，2019年

- 1) 野村豊子・汲田千賀子・照井孫久，高齢者ケアにおけるスーパービジョン実践-スーパーバイザー・スーパーバイザー育成のために，株式会社ワールドプランニング，2019年
 - 2) 河野聖夫・奥川幸子監修，「OGSVモデル」の考え方と実践 スーパービジョンへの招待，中央法規，2018年
 - 3) 大谷京子・山口みほ，スーパービジョンのはじめかた-これからバイザーになる人に必要なスキル，ミネルヴァ書房，2019年
 - 4) 大谷佳子，対人援助の現場で使える質問する技術便利帖，翔泳社，2020年(初版第3版)
- ・野中猛・野中ケアマネジメント研究会，多職種連携の技術，中央法規，2019年(初版第5刷)
- ・渡部律子，高齢者援助における相談面接の理論と実際，医歯薬出版，1999年

指導：日本福祉大学 社会福祉学部 ／ふくしの人づくり研究所所長

日本ケアマネジメント学会理事 認定ケアマネジャー

奥田 亜由子 先生

演習協力：医療法人有隣会 居宅介護支援事業所ケアワーク わかくさ 管理者 佐々木 賢治 氏

(動画) 医療法人財団明理会(IMS) 春日部市第7地域包括支援センター 所長 伊藤 衛 氏

社会福祉法人晴智会 晴和苑居宅介護支援事業所 管理者 下川 修司 氏

埼玉県介護支援専門員協会 事業人材育成部 柴田 多佳乃 氏